

# 「僕の訴え」

6年 W・M

## マッカーサー元帥について、書いた理由

僕は前、本の紹介で「マッカーサー元帥解任される」と言うのをみんなに発表しました。そして、この本を元に「私の考えを発信しよう」と言う勉強でおもうと思いました。なぜ僕がマッカーサー元帥について書きたいかという、僕達の教室には「はだしのげん」と言う本があります。そこには、広島市に一発の原子爆弾が投下されてからの市民の行動等が書かれていました。そして原子爆弾を落とした本人が、マッカーサー元帥だったのでマッカーサーについて書きました。

## 僕の訴え

なぜマッカーサー元帥が、当時のトルーマン大統領と考え方の違いだけで解任させられたのでしょうか。そして日本のみんなは、マッカーサー元帥が解任するとき悲しむ人が多かったそうです。確かにマッカーサー元帥は原子爆弾を落とした本人だが、「なぜ日本人の多くは解任に悲しんだのかな〜？」と思いました。元帥は、日本から帰国後上下両院合同会で「日本ほど人類の前進のため将来建設的な、役割を果たしてくれるという希望の持てる国をほかに知らない。」との演説を行いました。この言葉は自分的に、「日本のことをほめているのかな」と思いました。そして「老兵は死なずただ消え去るのみ」との名言を残しました。この意味は最初は知りませんでした。でも、社会科の時間に先生から聞きました。その時に、この名言は「すごくいい言葉だったんだな」と、思いました。

